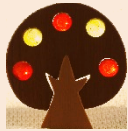


# とうかいグッドトイ委員会 おもちゃ通信

2018年  
10月号



ホームページ: <http://toukaigoodtoy.web.fc2.com/>

おもちゃ通信は会員同士の情報共有とつながりづくりを目的として発行する月刊通信です(^o^)

## こんなおもちゃを見つけました

### 「じゃんけんピーヒャラ」

今回は会社のバス旅行で訪れた淡路島で見つけたユニークな吹き戻しを紹介します。「吹き戻し」と言えば誰でも必ず一度は遊んだことがあると言ってもよいくらい昔から親しまれているおもちゃですね。地域によって「巻鳥」「巻笛」「ピロピロ」などいろいろな呼び方があるようです。そんな吹き戻しを専門で作っている会社が淡路島の「吹き戻しの里」さんです。こちらの会社で作られる吹き戻しは今や全国各地に出荷されています。

その中にはじゃんけんの出来るユニークな吹き戻し「じゃんけんピーヒャラ」もあります。

息の量を調整することで紙筒の伸びる本数が変わりじゃんけんができるというものです。今や顔の美容や肺機能を鍛えるエクササイズ用品としても注目されている吹き戻しですが、日本では製造する会社が少なくなっています。

いつまでも残っていて欲しいおもちゃですね。

「吹き戻しの里」<http://www.fb.com/fukumodosi>



## おもちゃエッセイ⑦

### 「見方変れば欲しくなる」

日本独楽博物館に「鳴り独楽」を買いに行った時の話。そもそもなぜ鳴り独楽なのかと言えば、何時ぞやの新聞で鳴り独楽を作る職人が少なくなり、近い将来作り手がいなくなるとの記事を見たからである。独楽と言えば独楽博物館！大概欲しいと思う独楽はここに行けば売っている。早速電車に乗り店に行く。しかし思惑は外れ、欲しかった伊勢の筒型、小田原の鈴型の独楽はすでに品切れ。せっかく来たのだからと他の独楽を探していると、カウンターのガラスケースに箱入の柿のような独楽が目に入る。小ぶりの鳴り独楽で値段は2,500円也。これは高い！他の独楽なら3個は買えると手にした独楽をケースに戻す。すると店のおばさんが「その独楽はこけし職人が作った林檎の鳴り独楽。鳴り独楽は作ってみたいと音が出るかがわからない難しい独楽だけどそれは良く音が鳴るよ。その作家の独楽はもう作られていないの。」よく見ると独楽の底に作家名が。急にとても安いものに思えてきて即購入。帰宅し早速回すと良い音色が。おばさんありがとう。



## ★角さんの今月のゲーム

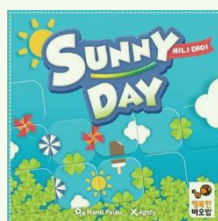
### 「サニーデイ」

メーカー: Happy Baobab プレイ人数 2~4人

対象: 6歳~ プレイ時間 30分



最近台風ばかりで荒れた日が続いております。いかがお過ごしでしょうか。今回のゲームはカラッと晴れた日を願って「サニーデイ」シンプルな韓国の絵合わせゲームです。1枚のタイルにお日様やクローバーなどの絵が半分描かれています。自分の番になったら、出ているタイルの端の絵と自分のタイルを絵を合わせて絵を完成させましょう！すると、完成した絵のタイルがもらえます。繰り返していくと自分の手元にタイルが集まっていくので、自分の手元でも絵を完成させれば高得点！シンプルでわかりやすく、とある晴れた日のような気持ちのいいゲームです。



## 児童館活動ア・ラ・カルト(13)



### 熱田児童館の『作って遊ぼう』

9月29日折り染めをしました。7月から延び延びになり、前回、「今度は何がなんでもしします」と伝えました。「今日は折り染めをする」と楽しみに部屋に入ってきました。が、雨交じりの天気、空調、キッチンペーパーを用意しました。帰る頃には、一人3枚の折り染めが乾きました。偶然できる、どんな風にできるかわからない模様に、子どもたちは喜んでいました。その時々のお天気に振り回されましたが、やっと終わりました。(E.Y)



【編集後記】最近欲しいおもちゃがあったときは本当に必要なのかどうか自問自答して買うようにしています。家が狭くなってきたからです。これまで衝動的に買って増えすぎたためにその反動がきています(^\_^) by うちやま